



「自らの命は自らが守る」

停電時の対応準備！

◆ 停電になったら

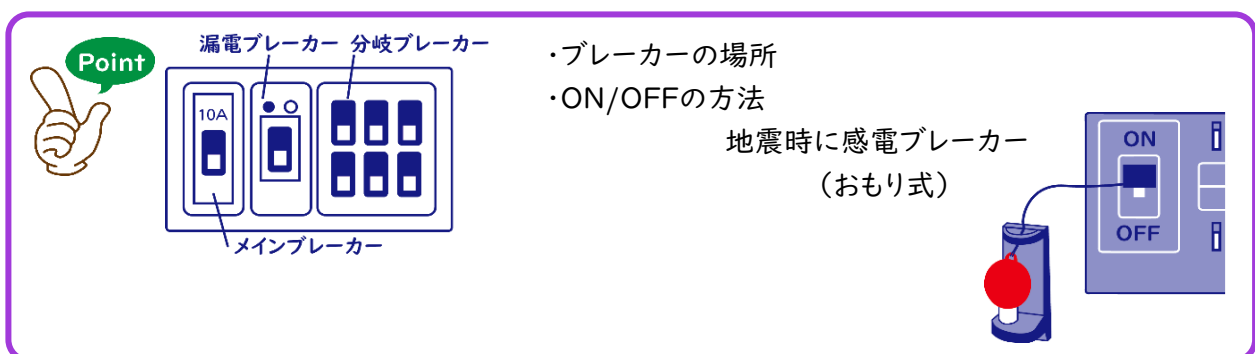
災害時停電になる可能性があるので、対策を考えておきましょう

戸建てと集合住宅（マンション）の場合と少し内容は異なりますが、ここでは集合住宅（マンション）の場合を掲載します

戸建て住宅の人も専有部を参考にしてください

停電が起きた場合、最初にすべきことは、自分の部屋だけが停電しているのか、マンション全体が停電しているのかをチェックしましょう

ブレーカーがONとOFFどちらになっているかを確認します ※平時に、ブレーカーの場所を確認
家から外に出て、周りの状況を確認します





◆ 停電に備えて準備する物

停電に備えて準備しておきたいもの

- (1)簡易トイレ
- (2)カセットコンロ
- (3)非常用の飲用水
- (4)乾電池と電池式のラジオ
- (5)スマートフォン用のモバイルバッテリー
- (6)懐中電灯



寝ている時に停電になってあわてない様に日頃個人で使っている物を枕元に置いておくと、あわてずに済みます



個人的に日頃使っている物を、小袋に入れ家でも持ち歩くと、いざという時安心です
持ち歩かなくても、置いておくところを決めておくと、あわてずに済みます



2つ目のモバイルバッテリー

最近モバイルバッテリーの発火が問題になっています
安いモバイルバッテリーは、劣化が早いので発火する可能性が「大」
そこで、2つ目のモバイルバッテリーは乾電池式をお勧め
避難所でも簡単に乾電池が手に入るそうなので考えてみてください





自宅を最高の避難所に!

その12-3

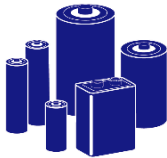
◆ 停電になったら共有部で起きること

● 共用部分（階段や廊下）の照明が消えます

停電したら、住戸内はもちろん、共用部分（階段や廊下）などもすぐに照明が落ちて真っ暗になってしまいますが、建築基準法では一定以上の規模の建物の照明について、非常用照明の設置を義務付けているので一定時間は大丈夫ですが、確認と定期的な点検は必要です



非常照明が設置されている場合には停電ですぐに真っ暗になるということはありませんが、停電が長期化すればもちろん内蔵の予備バッテリーも切れてしまいます
・乾電池 ・懐中電灯 ・ヘッドライト ・ランタン



● エレベーターが止まってしまいます

非常用電源は災害時に非常用エレベーター・消防設備などの防災用設備を稼働させるためのものです

各住戸での生活に使用する電力に使用でない場合が多いので、確認しておきましょう

また、エレベーターの停止で高層階の住戸に取り残される「高層難民」の発生も考えられます
対策と準備を忘れずにおきましょう



エレベーターで地震にあった時の行動4つ

1. すべての階のボタンを押す
2. ドアを「閉めてみる」
3. 「非常ボタン」を押す
4. 大きな音を出す

安全装置2つの確認



● 出入口の扉が作動停止する可能性があります

オートロックの自動ドアも停電時は作動しない可能性があります

- ・停電時の状況が保持される状態になる
- ・閉じたままの状態になる
- ・手動で開け閉めが可能な状態

自動ドアがどのパターンか確認が必要で、その対策も検討する必要があります

※マンションのセキュリティが機能を失うため、大変無防備な状態になります



自宅を最高の避難所に！

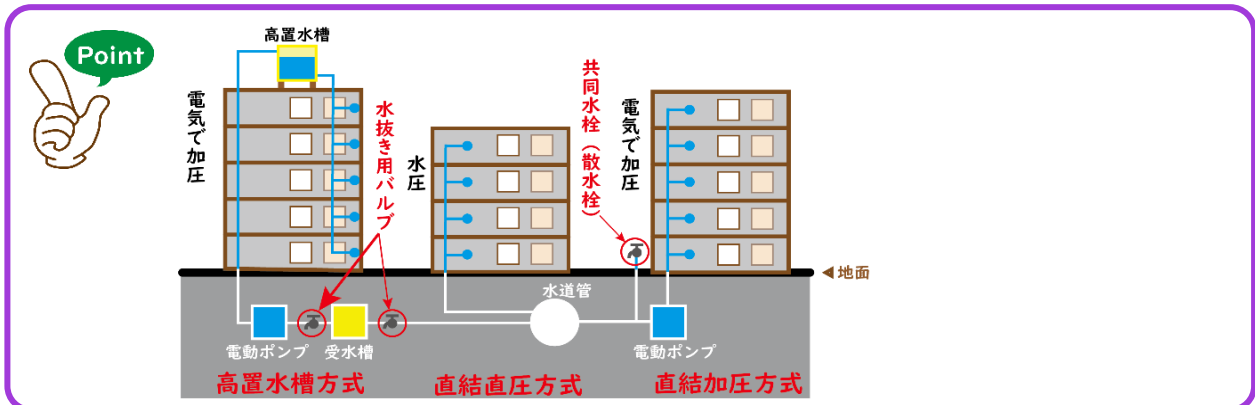
その12-4

● 給水方式によっては停電の影響で断水の可能性も

マンションの給水方式には、

- ・水道管から引き込まれた水をポンプで各住戸に供給する直結加圧方式
- ・水道管の水の水圧を利用してそのまま住戸に給水する直結直圧方式
- ・水道管からの水圧にポンプで加圧して上層階に供給する高置水槽方式

直結加圧方式により住戸に給水されている場合、増圧ポンプの力を必要とすることから、停電時にはポンプが動かず、各住戸への水の供給が難しくなります



● 温度調節ができなくなる

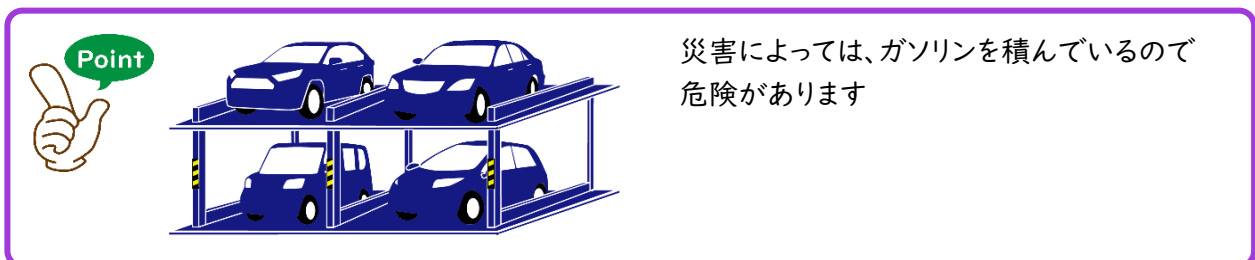
夏はエアコンやクーラー、扇風機が使えませんし、冬であれば暖房が使えません
電気を使わなくても寒さ・暑さ対策ができるアイテムを完備しておく必要があります



● 車の出し入れができない(機械式駐車場の場合は要注意)

停電時には機械式駐車場も作動しなくなります

水害による停電の場合、車両の移動ができない場合には地階に駐車している車両は水没の可能性がありますが





自宅を最高の避難所に!

その12-5

◆ 停電になったら専有部で起きること

● マンションに発電機があるから安心はNG

マンションに発電機があるから大丈夫ではありません

発電機を動かす燃料には限りがあるので、長時間は持ちません

あらかじめ発電機の性能確認と停電時の対策を取っておきましょう

● 家電製品が使えなくなります

冷蔵庫も電気が通らないことに注意しましょう

停電が長く続くようであれば冷蔵庫の中身で腐りやすいものは早目に食べたり飲んだりするなど、整理・工夫する必要があります



Point

クーラーボックスと保冷剤で冷蔵庫の中身を整理
冷凍庫を開け閉めしないように、食べる順番を考えて、冷凍食品
を解凍しながら食材を冷やすと、冷蔵庫内もクーラーボックス内も
温度が上がらない工夫を心掛けて



● オール電化の場合は全ての機能が停止します

オール電化のマンションで停電してしまった場合にはすべての機能が使えなくなります

停電に備えて準備しておくものを考えて準備しておきましょう



Point

電気を使わないで調理できる環境を準備しましょう
コンロだけでなく、燃料のガスの備蓄も考えて
1食にどれだけの燃料がいるのかを知っておき
10日間調理できる燃料の備蓄を



● 情報が取得できない

停電するとテレビやラジオが使えなくなり、正確な防災情報を得るのが困難になります

スマートフォンやパソコンは充電式のため、停電が起こってもしばらくは使用することができますが、

予備のバッテリーを用意しておくことで充電がなくなっても安心して使い続けれます

モバイルバッテリーを日常使い、スマートフォンに使ったら充電する癖をつけると、いざという時安心です

● 水道やトイレが使えない(給水設備が停止し断水するため)

停電すると水が出なくなったりして、トイレで流せなくなったりします

水(飲料水や生活用水)を日ごろから備蓄しておきましょう

※賞味期限切れの水を生活用水にする事ができるので、水は色々役に立ちます



◆ 事前に停電対策を考えておきましょう

地震だけでなく、台風や落雷などの影響で停電になることがあるので、事前にすることを考えておきましょう

● 停電になった時にすること

1. 停電の範囲を確認

自宅だけなのか、近所も停電になっているかの確認

自宅だけならブレーカーを確認し、内部的な原因なのか、外部的な要因なのかを確認

・復旧のタイミングがわからない場合は、電気製品の電源プラグを抜いておくようにしましょう

・「発熱する電気製品」は火災につながる可能性があるため必ずプラグを抜いておきましょう

2. 情報収集をしましょう

停電の原因は何か、情報を収集しましょう

連絡や情報収集のツールとしてスマートフォンがありますが、低電力モードに再設定します

・マンションの場合、水道のポンプが動かず断水になる可能性もあります

・断水になったらトイレ問題が別に起こるので、対策を考えておきましょう

3. 冷蔵庫の保冷を考えましょう

情報収集後、停電時間が長くなりそうなら、冷蔵庫をなるべく開けないように、クーラーボックスと保冷剤を使って、冷蔵庫の開け閉めをなるべくしない工夫をしましょう

停電時間が長引く場合、冷凍庫の物が溶け出すので、クーラーボックスへ移すのも一つの方法

4. 熱中症／寒さ対策

暑い季節の場合は、クーラーなど使用できなくなるので、熱中症の対策を考えておきます

寒い季節の場合は、石油ストーブなど電気を使わない暖房器具の準備も必要です

5. その他

・ロウソクは火災（2次災害）になるので、火を使わないLEDランタンなどを準備しておきましょう

● 停電復旧後にやること

1. 電化製品の周辺に問題はないか確認しましょう

2. 電化製品が正常に動くか確認し、時計などの機能がくるっている場合は再設定しましょう